

つくみん公園に現れた。コンテナ293(つくみ)号



昨年のふるさと振興祭(平成27年10月24日)でお披露目されたコンテナ293号は、現在ボランティアの方々が交代で管理人として常駐し、土日祝日(10時~17時)に無料開放しています。中古の貨物列車を2つ連結させたコンテナ内部は、貨物列車の趣を残しつつ、内壁には津久見特有の漆喰を施すなど居心地の良い空間で、お弁当を食べたり、おしゃべりをしたり、公園で遊ぶ子どもの姿を見守る場所としてお母さん方が利用されるなどフリースペースとして活用されています。またコンテナ内に置いてあるマンガや絵本、雑誌などは自由に読むことができ、さらに市内飲食店MAPやイベントチラシはお持ち帰りいただけるようになっています。まだコンテナ293号を見たことがない、中に入ったことがないという方はぜひ一度訪れていただき、自由にご利用ください。



つくみフォトアルバム

コンテナ293号にアルバムを置き、つくみの風光明媚な風景、おいしい食べ物、楽しい思い出など「つくみの魅力」の写真をこのアルバムに集め、つくみん公園を訪れるみんなに見てもらおうと思います。

あなたの「つくみの思い出」をアルバムに残していきませんか？

●津久見市の現状

平成17年にオープンしたつくみん公園には市内外から多くの人が訪れており、さらに近年では東九州自動車道の整備が進んだこともあって、徐々につくみイルカ島や四浦半島の河津桜などの観光地や食観光の定着化が図られてきています。しかし、観光周遊による市中心部の賑わい創出を感じるまでには至っていないのが現状です。

●事業の概要

市中心部を拠点とした「市民と観光客が共に賑わうまちづくり」を目指して、津久見観光周遊性創出事業(平成27年度から3年間の予定)で3つの目的を念頭に市民や学生が参加するワークショップなどを行い、賑わい創出に向けた実証実験を実施していきます。

●コンテナ203号設置の経緯

ワークショップにて、課題の抽出や、まちの活性化に向けた施策について議論を重ねた結果、初年度はつくみん公園にポイントを絞って取組を行うこととしました。つくみん公園は既に集客力があるため、公園内に市内のインフォメーション的役割を果たす拠点施設としてコンテナ203号を設置し、そこを核として情報発信(市内店舗の案内、観光スポットの案内、イベント情報の提供など)を行い、市内各所への周遊促進を図っていくことが狙いです。



【3つ目的】

- ①四浦半島等との観光周遊による、中心地の賑わい創出
- ②市民の生活拠点としての中心市街地の魅力向上
- ③まちづくりの議論を深め、今後の観光施策及び中心市街地活性化につなげる

●今後の取り組み

普段はリーススペースとして活用していたแต่いてありますが、実験的に津久見高校商業科の「つくみ蔵」や津久見商工会議所の「ふるさと名物特産品」などの取組を行ってきました。今後は、つくみ港まつりやふるさと振興祭などの既存のイベントのほかに、賑わい創出や商店街への周遊効果が見込まれる新規イベントなどを企画するとともに、高齢者の生きがい対策事業にも活用する予定です。現在、企画運営を行う組織づくりに取り組んでいるところですが、多くの市民の皆様が気軽に参加できるようにと考えています。そして、市民と観光客の賑わい拠点として、また「津久見創生」へ向け、年々充実させていきたいと思えます。



津久見の情報発信基地を目指す

おる Oluっちゃ! 4月3日(日)開催

つくみん公園で「Oluっちゃ!」イベントを開催します。コンテナ内ではフレスコ画の色付けや、粘土でクレイスイーツづくりが体験でき、公園の芝生広場では子どもが遊べる企画を考えています。また市内飲食店に出店していただき、飲食の販売も行いますので、ぜひ遊びに来てください。

